

## 【夜市地区】

### 市長と語ろう！もやいミーティング概要

- 1 日時 平成25年12月15日（日） 10:00～11:45
- 2 場所 夜市公民館
- 3 参加者数 51名
- 4 出席者 市長 木村 健一郎  
副市長 青木 龍一  
企画総務部長 住田 英昭  
行政改革推進室長 久村 信幸
- 5 会議録

#### （夜市：幼稚園の統廃合）

Q) なぜ、夜市幼稚園がなくなり戸田に統合するのか。夜市に統合すればよいのではないか。

市長) 公共施設の再配置をどう進めるかということと、次期総合計画の策定に向け、市の現状と現総合計画の説明のため、もやいミーティングを開催し、市内20カ所を回っている。今日は、幼稚園のための説明会ではなく、市政全般にわたる話し合いなので、その点をご了解いただきたい。

Q) 私たちは、夜市幼稚園について、市長や教育長と話をする場を設けてほしいと要望していたが、もやいミーティングに代えたいとの回答であった。そのため、私たちは、今回、夜市幼稚園の話をするために来ている。公共施設の再配置も大事であるが、夜市幼稚園が最優先の問題である。

Q) 公共施設の再配置について、先ほどの説明では安全ということが入っていなかった。また、夜市幼稚園の廃園は、最大の課題であるが、市長は、10月23日の件について、どのように教育委員会から報告を受けているのか。

市長) 日本は、教育委員会制度をとっている。教育委員会は独立行政委員会であり、教育は、原則、教育委員会が行うこととなっており、それを踏まえた上で、市長としての私の思いを説明する。10月23日の件は、報告を受けており、反対の意見を含めて出された意見について承知している。また、公共施設の再配置は、量・サービス・コストの最適化とともに、安心安全に使用できるような性能の最適化も含めた4つの方針をもとに進めている。現在パブリックコメントを実施中であり、是非、ご意見をいただきたい。

Q) 先日の教育委員会の説明では、地元への説明もなく安全性も利便性も全く考慮せず、距離の問題のみで3地区の中心地である戸田に統合を決めたとのことであった。距離だけの問題であれば、周南市の中心は、須々万であるから、須々万に市庁舎を建てればよいのでは。

市長) 距離だけで判断したのではなく、西徳山地域全体でみて一番通園しやすく、かつ総合的な判断で決定したと教育委員会から聞いている。

Q) 資料には、市街化区域に新興住宅やアパートが建ち、若い世代の流入が増加しているという夜市地区の説明がある。夜市小学校の項の説明でも、児童数の増加についても書かれている。また、以前の新聞報道において、夜市・湯野・桜田の3園は、保育所機能を追加した統廃合の可能性も並行して探るといった記事があった。和田、福川のことも含めて考えると、夜市に統合するのが適切ではないか。

市長) 市には公立幼稚園が14園あり、1,320人の定員に対し入園者は330人。今後の幼稚園のあり方について市全体として総合的に判断した結果、教育委員会の決定に従い進めていくべきと判断した。

Q) どうして桜田に決まったのかということを知りたい。平成22年に行政改革審議会で提言をし、策定にあたっては、地域のニーズを調査して決めることが書いてあった。それにも関わらず、調査等一切されず、いきなり決定事項として伝えられた。その説明が納得のできるものではなかったことから、私たちは急遽1,400人の署名を集め提出した。その署名は、どのように扱われたのか。

市長) 教育委員会の説明が不十分だったと感じた。総合的な説明をするよう教育委員会に伝える。

Q) 8月7日から説明会が始まったが、夜市地区住民に対し全く誠意ある対応がされていない。

Q) 何年も話し合っただけなら分かるが、机の上でぽんと決めて「真ん中ですから桜田にします」というのはおかしい。

市長) 今日は、市政全般について皆さまの意見をお聞きしたくてお伺いした。総合的な説明をするよう教育委員会に伝える。

Q) 財政のことも、統廃合が必要なこともわかるが、場所をなぜ桜田に決めたのかという根拠がない。保護者の送り迎えでも、桜田幼稚園までは、交通の利便性が悪い上、離合も難しく、安心安全が確保されているとは言えない。また、距離的にも遠くなるし、若山保育園や福川幼稚園に行く方が利便性は高い。それらに対して、納得のいく説明が全くない。

市長) ご意見は持ち帰って、教育委員会へ報告する。

Q) アンケート調査等、意見を聞いて安全性とか施設の規模・グラウンドの広さ・交通・人の流れなど、すべてを勘案して最終的に決めるべきでは。

市長) 入園状況や今後の整備も含め、総合的に判断した上で計画すると決めている。きめ細かい説明とご理解を得ることの努力不足だった。

Q) 持ち帰って検討された結果は、どのように、いつ説明いただけるのか。

副市長) 基本方針どおり行うというのが、私どもの考え方。より良い安全性など、これからのことを考えた時、どのような方法が取れるか、深く考えなければならない問題がたくさんある。その辺りは検討すべきだと思う。

Q) 桜田幼稚園に統合するという前提で、検討されるのか。

副市長) 基本的な方針である、桜田幼稚園という前提の中で、皆さまが納得できるような対応を検討したい。

Q) 桜田幼稚園に統合するという案は、ニーズ調査もしないまま、決定されたものであり、前提が間違っている。その前提を見直すべきではないか。

市長) 安全性など色々な視点を踏まえているが、3園の統合における最も重要なファクターは皆さま方の利便性だと考えて結論づけた。

Q) なぜ、もう少し時間をかけて話し合う時間を持ち、検討しなかったのか。

それができていたら、誰も文句は言わない。進め方が間違っていたと言っている。決まったことだからと、それを前提に検討するのはおかしい。

Q) 私たちは、子ども達を安心安全で素晴らしい幼児教育が受けられる幼稚園に通わせたいだけで、そのために頑張っている。そのことをもう一度考えほしい。

市長) 夜市地区の方々の強い思いを感じた。教育委員会から可能な限り丁寧な説明をするよう教育委員会へ伝えたい。

## 要約一覧

## 夜市地区

管理 NO	内容	担当	質問	回答
夜市	幼稚園の統廃合	教育政策課	夜市幼稚園がなくなり戸田に統合する案に地域として反対している。納得できる説明を。	教育委員会において、入園状況や今後の整備も含め、総合的に判断した上で決定したものである。可能な限り丁寧な説明をするように教育委員会へ伝える。